

2024 - 25 ガバナー月信

Rotary
District 2610



第11号 **5** 月

2025. May
Governor's Monthly Letter

CONTENTS

- 2 ガバナーメッセージ
- 4 地区大会お礼と報告
- 9 規定審議会報告
- 12 能登半島地震・豪雨復興支援について
- 13 委員会報告
- 16 IM開催報告
- 17 行事予定(5・6・7月)
- 18 会員数報告
- 19 R財団・米山記念奨学会寄付者一覧／会員異動



道の駅「KOKOくろべ」(富山県黒部市)

代表事務所

ガバナー・ガバナーエレクト合同事務所

〒921-8012 石川県金沢市本江町 1-18

TEL 076-292-2610 FAX 076-292-2613



ガバナー事務所

富山サテライトオフィス

〒939-8072 富山県富山市堀川町 464-2

TEL 076-413-5183 FAX 076-413-5185



「5月 ガバナーメッセージ」

国際ロータリー第2610地区
2024-25年度 ガバナー
大橋 聡司（宇奈月RC）



国際ロータリーZONE 1A, 2 & 3のクラブ活性化セミナーが、4月17日・18日に東京JPタワーホールにて開催されました。神野正博RPICのお計らいにより、2日目のプログラムの中で、令和6年能登半島地震・豪雨災害に対しての当地区の取り組みを発表させていただきました。被災会員への多面的な支援に取り組んだ結果、被災地域の会員数を減少させることなく今日に至っていることを報告しましたが、国内外ロータリーから大きなご支援をいただいておりますので、その感謝を伝える機会にもなりました。

本年は3年に1度の規定審議会の年で、4月13日から17日までシカゴで開催され、当地区の代表議員として松本耕作パストガバナーが参加されました。規定審議会とは、国際ロータリーの立法機関であり、ロータリーの組織規程文書である国際ロータリー定款・細則、そして標準クラブ定款を改訂する権限を持つ唯一の機関です。本年度は審議予定の立法案として81件が上程されており、審議結果によってはロータリー活動やクラブ運営に大きな影響が出る可能性もありますので、注視していただきたいと思います。

さて、5月のロータリー特別月間は『青少年奉仕月間』です。青少年奉仕は若い人々の成長の育成を支援するプログラムを提供することであり、リーダーシップ育成活動、社会奉仕プログラム及び国際奉仕プロジェクトへの参加、並びに世界平和と異文化の理解を深める交換プログラムなどを通して、青少年に成長の機会と好ましい変化をもたらす活動といえます。

ロータリーでは、青少年奉仕に対するプログラムとして、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者育成プログラム（RYLA）及びロータリー青少年交換の4つのプログラムがあります。当地区では現在17のインターアクトクラブ（学校基盤16、地域社会基盤1）、7のローターアクトクラブ（社会人基盤5、大学基盤2）があり、それぞれ積極的に奉仕・交流の活動を行っております。

また、国際青少年交換委員会では、アメリカ・カナダ・オーストラリアとの長期派遣交換留学及びベルギー夏季短期交換留学の事業を実施しています。さらに、日本独自の青少年奉仕といえる米山記念奨学会奨学事業があり、当地区は全国的にも活発に取り組んでいます。

なお、RYLAは当地区では実施しておりませんが、全国RYLA研究会に参加するなど情報交換の機会としております。

当地区では、それぞれの担当委員会が熱心に青少年奉仕活動を行っていましたが、さらにこれらの活動を結び付け、シナジー効果を生み出すべく本年度からユース・米山部門として横のつながりを意識しながら事業を行っています。具体的な連携事業として5月18日(日)10:00~16:00に富山市のグランドプラザ富山において「Rotary Youth Day」が開催されます。「Rotary Youth Day」では、当地区で受け入れている長期交換学生の日本語によるスピーチコンテストを始め、インターアクト、ローターアクトの活動紹介、米山記念奨学会の紹介など様々なプログラムを予定しています。皆さまにおかれましては、ぜひともご家族やご友人とこのイベントをご覧に来ていただき、応援をしていただきたいと思います。

この青少年奉仕月間を契機に、私たちが未来のリーダーたちである若者たちに対してどのように貢献できるかを再考していただければと思います。青少年は私たちの社会の未来を担う重要な存在であり、彼らの成長と発展を支援することは、ロータリーの使命の一環であると考えています。ぜひとも青少年を支援する活動に積極的に参画してください。一人一人の力が集まることで、より大きなインパクトを生むことができます。この機会に、新しいアイデアを持ち寄り、青少年のための活動を企画してみてください。当地区には、すでに多くの素晴らしい活動が存在しますが、さらなる創意工夫が求められています。皆さまの熱意とアイデアが、青少年にとっての新たなチャンスを生み出すのです。

青少年奉仕月間が皆さまにとって、さらなるインスピレーションを与えるものになることを願っています。未来を担う青少年のために、私たち一人一人ができることを考え、行動していきましょう。



国際ロータリー第2610地区 2024-25年度地区大会の御礼とご報告

地区大会実行委員長
平野 明（黒部中央 RC）

国際ロータリー第2610地区2024-25年度地区大会は、3月15日(土)16日(日)、黒部市において3会場に分けて取り行なわれました。

本年度地区テーマ『ロータリーを高めよう』と、2024年元旦に発災した能登半島地震をうけ『能登半島地震豪雨災害からの復興』をきっかけ、初日は黒部市芸術創造センターセレネにて指導者育成セミナーが行われ、直前RI理事佐藤芳郎氏、珠洲市長泉谷満寿裕氏、元熊谷組社長大田弘氏にそれぞれ御講演をいただきました。

2日目は黒部市国際文化センターコラーレにて、当地区大会では初めての試みとなりますが、青少年の為の公開講演会として彫刻家の吉野美奈子氏による講演、そして午後より本会議Ⅰ、次にメインの記念講演があり、狂言師の野村萬斎氏による『アップデートする狂言』と題して、伝統的な狂言も近代社会の中では色々と変化をしていくという事で、ステージにミニ舞台を設営し、おつきの狂言師の方と実演を交えての講演でありました。

いよいよ最後の本会議Ⅱでは、本年度の各表彰がありRI会長代理の所感、次回地区大会開催地の小松市の小松シティRC、小松東RCの発表をもって閉会致しました。

夕方には黒部市総合体育館にて900名あまりの御来賓の皆様や会員による大懇親会が行われました。当初より全員着座にての宴を目的にして、食材にも能登半島産のコーナーを設けたりメインアトラクションでは、輪島市名舟町の御陣乗太鼓で盛り上げて頂き、能登半島の復興のご支援の一旦を担わせて頂きました。

最後に1350 畳の体育館での『手に手つないで』は圧巻でありました。

この度の地区大会はホストクラブが黒部中央RC、コホストクラブが富山第一グループ5クラブで一致団結して準備してまいりましたが当日は小雨模様の中の移動など、ご来場の皆様には何かと不行き届きの点多々あったかと存じますがロータリーの友情にてお許しを頂きたいと思います。

結びに今回の地区大会にご参加頂きましたRI会長代理新井和雄様、富山県知事新田八朗様、黒部市長武隈義一様、各地区ガーバナーの皆様、そして第2610地区の沢山のロータリアンの皆様方に心より深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



【指導者育成セミナー(大田弘氏)】



【公開講演会(吉野美奈子氏)】



【記念講演(野村萬斎氏)】



【手に手つないで】

地区大会お礼と報告

3月15日(土)

★地区大会4委員会



登録委員会



信任状委員会



選挙委員会



大会決議委員会

★指導者育成セミナー



オープニングアトラクション



開会点鐘



RI会長代理紹介



地区ラーニングファシリテーター挨拶



ロータリー講演1
「国際ロータリーの方向性」



ロータリー米山学友報告



ロータリー講演2
「能登半島地震・豪雨災害の被害と復興について」
泉谷満寿裕珠州市長へ支援金を贈呈



支援金贈呈



特別講演
「黒部ダム建設に学ぶリーダーのあり方」



国際ロータリー会長代理 講評

★RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会



地区大会お礼と報告

3月16日(日)

★公開特別講演

～自分らしい人生の作り方2025～

パブリックアーツスペシャリスト
彫刻家・画家 吉野 美奈子氏



★本会議Ⅰ



★記念講演



～アップデートする狂言～ 狂言師 野村萬斎氏

★本会議Ⅱ



★大懇親会



2024-25年度 地区大会を終えて

第2610地区大橋ガバナー年度地区大会が、国際ロータリーステファニーA.アーチック会長のテーマ「ロータリーのマジック」のもと新井和雄RI会長代理をお迎えし、宇奈月、黒部を舞台に盛大に開催されました。大会運営にご尽力いただいた、平野 明実行委員長はじめ、黒部中央ロータリークラブ並びに富山第一グループの皆様に、心より感謝と御礼を申し上げます。

大橋ガバナーは、大会運営に地区ロータリーファミリーの親睦を掲げ、能登半島地震・豪雨災害で被災したクラブ会員の皆様に心寄せたプログラムが随所に感じられ、心温まりました。また、ご講演をいただいた直前RI理事の佐藤芳郎様、珠洲市長泉谷満寿裕様、黒部ダム建設に学ぶリーダーのあり方、の大田弘様、彫刻家吉野美奈子様からは、共通した素晴らしいリーダーシップを学ばせていただきました。そこには失敗を恐れず挑戦し続ける姿勢とメンバーを信じ任せる姿、ブレない信念と誠実さがあるなと感じました。

さらに狂言師野村萬斎様の記念講演では、狂言の伝統を守りつつも、時代の変化に対応し、現代に生きる新たな狂言に挑戦しているお話をお聞きし、時代と共に変わるロータリーと変わらぬロータリーへのヒントをいただきました。

結びに、大橋ガバナーより地区大会の鍵をお預かりいたしました。次回10月石川県小松市での開催、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

2024-25年度 地区大会を終えて

新井和雄RI会長代理をお迎えし、大橋年度の最大行事である地区大会が宇奈月、黒部の地で開催されました。平野明実行委員長を始め、ホストの黒部中央ロータリークラブ並びにコ・ホストを務められた富山第一グループの皆様にご心から感謝と敬意をささげます。15日の指導者育成セミナーでは大田弘様に「黒部ダム建設に学ぶリーダーのあり方」と題し熱弁を奮っていただきました。笑いあり涙ありの1時間の中で、現場に立つリーダーのあるべき姿を見事に浮き彫りにされました。

16日の午前中の彫刻家吉野美奈子様の講演は、公開特別講演として高校生など一般参加を伴い開催されました。ご自身のチャレンジングな人生経験を振り返りながら、オーディエンスの心を揺さぶる熱のこもった内容でした。受け身で感じる「楽」と主体性がないと得られない「楽しい」は違う、という話が印象的でした。ロータリーが推進するラーニングは、まさに参加者の主体性によって学びを創造しようとするものです。小山GEは3年間の目標として「だれもが笑顔でいごこちの良いクラブ」を掲げられました。あるべき姿として、「楽」でなく、「楽しい」からこそ得られる「いごこちの良さ」でありたいと思った次第です。

フィナーレを飾る大懇親会ではご当地のごちそうを控えられ、被災された能登地域の海の幸、山の幸がふるまわれたことは、参加者の気持ちにご配慮いただいたものと感激いたしました。

今回4月13日からシカゴで開催された規定審議会の1番の議題は、国際ロータリーに対する人頭分担金の値上げの議案の審議でした。当初は、RI理事会から3つの議案が提出されました。

- 25-47 人頭分担金を決定するためのプロセスを改正する件
RIが人頭分担金を毎年設定することを認める。
- 25-48 人頭分担金を増額し、人頭分担金を決定するためのプロセスを改正する件
2026-2027年度以降は規定審議会で採択された金額（動議25-49と同額
の金額）とするが、人頭分担金への年間調整が規定審議会で採択されたその年度の
7%を超える増額とならない限り理事会は1年ごとに変更できる。
- 25-49 人頭分担金を増額する件
2026-2027年度、半年ごとに米貨21ドル75セント
2027-2028年度、半年ごとに米貨44ドル66セント
2028-2029年度とそれ以降、半年ごとに米貨46ドル50セント

ここで、審議会開催前に25-47、25-48が撤回され25-49のみがRI理事会からの提案となりました。ここからは私見ですが、3つの提案を提出し、動向を注視していたものと思われます。議案を通すためのテクニックとは言え、「ずるい！」との印象。他地区からは据え置きなどの提案はありましたが、議案審議の順序があとであり撤回に追い込まれています。ということで、次年度2026-2027年度から我々メンバーが支払うRI分担金が増えますので、ご注意ください。

議案の審議過程を通じて感じたのは、これも私見ですが「RI理事会は会員から選ばれて業務を遂行しているのですから業務の遂行をお任せいただきたい、RIのスタッフは理事会から任命されているのだからその判断を尊重してほしい？」といった感覚で形式上の簡単な説明を行い、半ば強引とも思われる審議進行に対し、しっかりとした現実（現在置かれているRIの業務や経済の環境、5年後の収支見通しなど）の説明をお願いして理解した上で審議してもらいたいという（主に日本）の考え方、値上げの幅がコーヒー1杯程度のものであるから大差ないとの考え方などがうずまき、結局351対135の大差で承認されました。大げさに言えば組織の統治、トップの説明責任、組織する会員の意識など、考え方の違いをどのように調和していくのか非常に悩ましい課題であると感じました。一方（人頭分担金の値上げに関連して）日本の2850地区とドイツの地区の共同提案で、「RIが講じたプロセスの改善と経費削減対策に関してロータリー研究会などで定期的に発表する」とするRI細則の変更については可決しました。

また、事務総長の報酬や任期などに関する提案（25－43～46；主として日本から）に関しても、「大きな組織を纏める存在としてRI理事会が選任したのだから、有能な人に相応の報酬を支払うのは当然であり、また2期10年など期限を限定する必要はない」などとするという観点から、これらの提案は否決されました。ここからは私見ですが、RIは会社として考えている傾向が強く、「組織として長期間になると澁みが発生し、これを活性化すべき」との議論は世界ではなかなか通用しないようです。しかし我々が選んだRI理事会はRIスタッフを完全に掌握しているかと言えば、なかなかYesとは言えないようにも感じます。そのあたりがこの問題の根本にあるように思います。

ローターアクトに関する議案も審議されました。現状は年齢制限もない状態ですが、25－11、12において年齢制限を定める議案が提出されました。しかし、いずれも否決されました。また、25－13においてはローターアクトクラブがRIの会員として制定案や決議案を審議会に提出することを可能にする議案が審議されました。RI理事会に回付して議論を進めるという（堂々巡りの？）結果になりました。ここからは私見ですが、ローターアクターは形の上ではロータリーの会員として認められ、ガバナーの研修である国際協議会にも参加し、会費の支払いなどその立場や環境の整備に努めているものの、まだその将来像が見えていないのでしょうか、ローターアクトをロータリーの会員とした時点で、RI理事会は即時に対応すべきであったのではと思います。

地区大会を毎年開催するという要件を削除するという提案、25－72も可決されました。これは「地区大会を開催しなくてよい」というのではなく、「必要とされる場合に開催する」という柔軟性が与えられたということです。これは世界には1地区が複数の国から成り立つような地区もあり、地区大会には多額のコストがかかるという観点からの提案です。日本の地区にはあまり関係がありませんが、これほど世界は多様です。

最近の「研修」から参加者中心の「ラーニング」への移行の流れの中で、PETS（President-elect Training Seminar「会長エレクト研修セミナー」）をPELS（President-elect Learning Seminar「会長エレクト・ラーニングセミナー」）に変更する、また地区研修・協議会（District Training Assembly）をクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー（Club Leadership Learning Seminar）に変更するRIからの提案25－76も可決されましたが、254対221の僅差であり、もう既に事実上スタートしているようにも思われる中で、今なぜとの感覚もない訳ではないのですが、反対票は名前の変更に反対するのではなく、名前なんてどうでもよい？との考えによるものと思えないような気がします。本件は標準ロータリークラブ定款第10条、第11条の変更の必要があります。

標準ロータリークラブ定款の変更を求める提案も日本の地区からいくつか出されました。柔軟性の名の下に同定款の基本的な部分との間に齟齬が生じているのでこれを改正しようとするものです。しかし結果は、25-83、84、85は審議の無期限延期(事実上の否決)。25-86は否決。その背景には、細かいこと(micro management)には言及せず、例外規定で対応するといった流れがあるようで、「審議の無期限延長の動議」の提出によって提案を葬り去ろうとする見えない力があるように感じ、それではその基本となる標準クラブ定款の存在意義は何か？厳しい言い方をすれば、これでは標準ロータリークラブ定款は必要なくなる？との疑問が生じ、私は25-86の討論において「標準ロータリークラブ定款の存在意義を考慮して賛成票を投じて下さい」との発言をおこない、規定審議会に一步足跡を残しました。私は次回の審議会には同様な提案はあまり意味がないと考えられますので、「例外規定は削除し細則によって定める」とする提案も必要ではないかとも思います。

このように86件の議案(撤回された議案を含む)を5日間にかけてロバート議事法に基づき審議しました。ここに披露させていただいたのはその一部、皆様に直接関連したり関心のあると私が思われるものを列記させていただきましたが、そのすべてはRotaryのアプリやMy Rotaryにあります。ご関心のある方はご覧ください、ただし投票結果などは英語です。

尚、標準ロータリークラブ定款などに関連する修正は、他の条文との関連などの調整を経て、正式な日本語の条文として今秋に発表されます。それらをクラブの理事会として総会の議案として提出し、会員の承認をいただく必要がございますので念のためお知らせ申し上げます。また、変更は本年7月1日より有効となりますので、クラブ関連の法案は年末？などに開催されるクラブ総会（次年度役員の選任などと同時に？）で審議承認されることとなりますが、7月1日にさかのぼって有効となりますこともご承知おき下さい。

以上、取り急ぎ報告申し上げます。今回の規定審議会出席は、我々が日本で考えている考え方と異なる世界の考え方を理解するといった点で大変勉強になりました。どちらが良い悪いではなく、優先して考えるべき観点が世界で異なるという現実と直面し、いわゆる多様性を痛感いたしました。規定審議会はロータリーの立法機関であり、会員が不自由に感ずる規定を変更できる権利を実現することのできる場所です。クラブや地区の場合は地区大会の決議を経て、期日までに提案することにより事前審査を経て審議の対象となります。当地区からも力を蓄えて立法案を提出できるようになることを願ってやみません。

また、参加に際して毎年会員一人100円の補助ありがとうございました。

能登半島地震復興 2610 地区版補助金給付事業IIのご報告

本補助金給付事業の対象となった事業のうち、実施が完了した2件のプロジェクトをご紹介します。

■そば打ち体験交流事業・加賀白山ロータリークラブ

加賀白山ロータリークラブでは、これまで地元子どもたちや高齢者の方々を対象に、そば打ちを通じた交流例会を継続して開催してこられました。震災のあった昨年には、能登地域から避難された方々を対象にそば打ち体験事業を実施なされ、地域を越えた温かな交流の場を築いておられます。

本年は、そうしたご縁を一過性のものとせず、さらに関係を深めていくことを目的に、能登と加賀それぞれの少年野球チームに所属する子どもたちを対象とした「そば打ち体験交流事業」を企画、本補助金事業として申請・採択され、2025年3月22日(土)に実施されました。



■イルカさんと環境といのちについて考えよう・金沢香林坊ロータリークラブ

石川県内の小学生とその保護者を対象に（能登地域からは親子30組60名を招待）、歌手でありIUCN（国際自然保護連合）初代親善大使でもあるイルカさんを講師に迎え、「環境といのちについて考えよう」をテーマとした講演と、環境保全活動としての植樹を行う事業が企画されました。

この事業も本補助金事業として採択され、2025年4月12日(土)に実施されました。



能登の復興に向けて、こうしたプロジェクトを企画・実施なさいましたことに、深く敬意を表します。

直接参加なさった方に限らず、このような支援の取組みが広がっていく姿にふれることは、きっと能登の多くの方々にとって大きな励ましとなるに違いありません。

皆様のクラブもぜひ、本補助金給付事業をご活用いただいて、ともに希望の輪を広げていきましょう。

新会員のためのロータリー研修会

地区会員増強委員会 委員長
諸江 隆(金沢香林坊RC)

4月20日(日) 地区研修・協議会に先立ち、午前に「新会員の為の研修セミナー(新会員を一人ぼっちにしない)」を能美市根上総合文化会館タント「円形ホール」にて開催いたしました。



地区会員増強委員会としては初めての試みにて企画させて頂きましたが、当日は地区内から86名の参加をいただいたの開催となりました。RLI委員会の全面的な協力のもと新会員にとっては初めて経験するラーニング形式の研修会となり、12のグループに別れて活発な意見交換がなされました。各グループの様子を聞いてみましたが、参加された会員はキャリアこそまだまだ短いのですが、ロータリー活動に積極的にまた能動的に取り組んでいる様子が伺えました。2610地区ではこの3年に入会された会員が約140名でその60%を超える数の参加を頂き、その会員のほぼすべてが日々前向きに活動に取り組もうとしている姿勢に、会を開催した立場の私としても大きな感動を貰いました。この日参加された86名の新会員は、地区内に少なくとも7、8名の同期会員と巡り合い、今後は様々な大会や研修会でより密接な交流に発展されていくのだろうと感じた研修会でした。

初の試みで準備不足や運営面での不備もございましたが、ご参加いただきました新会員の皆様の友情と研修会を全面的にサポート下さいましたRLI委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。

2025-26年度 地区補助金給付のための審査会

地区ロータリー財団委員会 委員長
青山 和也(富山みらいRC)



去る4月12日(土)、ハイアットセントリック金沢にて、2025-26年度地区補助金給付に向けた審査会を開催いたしました。

今年度からは、申請手続きの簡素化と明確化を図り、より多くのクラブの皆さまにご利用いただきやすい仕組みとしました。加えて、能登半島地震復興2610地区版補助金給付事業 Iとして、震災復興に資する申請に対しては、クラブ負担金を100%補助する仕組みもあります。その結果、昨年度を大きく上回る46クラブから計64件の申請をいただきました。

審査会では、それぞれの申請案件についてロータリー財団本部の承認を得るための要件を確認する視点から、一件一件丁寧に検討を行いました。委員の皆さんからは様々な意見が出ましたが、今後はすべての案件について今年度中の承認取得を目指し、地区委員会が責任をもってロータリー財団本部への申請手続きを進めてまいります。

なお、ロータリー財団の補助金はすべて米ドル建てで運用されており、申請限度額等はその都度ロータリーレートに基づいて円換算しております。昨今の急激な円高の影響により、最終的な補助金額が申請額を下回る可能性もございますことを、あらかじめご理解賜りますようお願い申し上げます。

グローバル補助金奨学生候補者面談会

地区ロータリー財団委員会 委員長
青山 和也(富山みらいRC)

ロータリー財団のグローバル補助金は、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チーム(VTT)の3つに大別されます。当地区においては、コロナ禍の期間を除き、毎年グローバル補助金を活用した奨学生を海外へ派遣してまいりました。この「グローバル補助金奨学金」は、大学院レベルで母国以外の国に留学する学生を支援するものであり、その研究・修学内容がロータリーの7つの重点分野のいずれかに合致していることが応募条件となっています。

今年度は2名の方よりご応募をいただき、去る4月12日(土)にハイアットセントリック金沢にて、地区役員との面談会を実施し、地区の推薦状をお渡ししました。お二人とも「疾病予防と治療」の分野において研究を進めておられ、その内容は高度かつ専門的であるため、私たちには難解な部分もありましたが、いずれも真摯な姿勢と温かい人柄が印象的でした。海外での学びと研究を通じて得られる成果は、きっと地元地域や世界の医療の進歩に大きく寄与するものと確信しております。



今後は、ロータリー財団本部に申請書を提出し、承認をいただくことになります。お二人の詳細は以下の通りです。



氏 名：藤井 愛(ふじい あい)さん
所 属：金沢医科大学 医学部 腎臓内科学
留 学 先：バージニア大学(米国)
期 間：2025年8月～2027年8月
研究内容：神経免疫調整を用いた腎保護療法の研究



氏 名：大島 由(おおしま ゆう)さん
所 属：金沢大学医薬保健研究域医学系
留 学 先：マーストリヒト大学医療センター(オランダ)
期 間：2025年11月～2027年11月
研究内容：「糖化反応」に関する研究

石川第4グループ IM 開催報告

石川第4グループ
ガバナー補佐 持木 葉子（能都RC）

2025年3月23日（日）に能登町にあります「コンセールのと」にて本会議を、その後能登町コミュニティセンター（国民宿舎うしつ荘）に場所を移し懇親会を開催いたしました。

特別出席者として、大橋ガバナー、町野地区幹事、中村地区副幹事、そして中越石川第3グループガバナー補佐、佐味石川第3グループガバナー補佐事務局長にご出席いただきました。

昨年度は能登半島地震の影響で開催できませんでしたが、今年度は何とか開催したいとの思いでおりましたところ、地区等の温かいご支援により開催することができました。

石川第4グループの会員の中には、まだまだ復興という言葉には程遠く、金沢で生活されている方もいらっしゃる中、わざわざIMのために駆けつけてくださった方もいらっしゃいました。



本会議の基調講演では、大橋ガバナーに「これからのロータリーについて考えること」という演題で講演をしていただきました。

大橋ガバナーの能登半島地震後の被災クラブへの想いは、本当に温かく強いもので、復興支援にかける想いがよく分かりうれしかったと講演後に会員が話しておりました。また、これからのロータリーについても大橋ガバナーの想いを語っていただき、今後のクラブのあり方についてとても参考になりました。

場所を移し、懇親会を開宴いたしました。オープニングの縄文女組太鼓・相撲甚句の後、来賓よりご挨拶をいただき、いつも大変お世話になっています町野地区幹事の乾杯でスタートしました。

久しぶりに顔を合わせた第4グループのメンバーの笑顔が、今後の奥能登を明るく照らしてくれるように感じ、楽しい時間を過ごすことができました。



2024-25年度 行事予定 (5月・6月・7月)

2025年4月末日現在

日付	曜日	行 事 予 定	場 所	時 間・備 考
5月 <青少年奉仕月間>				
10	土	次期ガバナー補佐会議	ZOOM	10:00~11:30
10・11	土・日	第17回全国RYLA研究会・広島会議	安芸グランドホテル	13:00~翌12:00
11	日	ローターアクト第47回地区年次大会	ANAホリデイ・イン金沢スカイ	13:00~19:00
15	木	地区ロータリー財団委員会親睦ゴルフコンパ・懇親会	小杉カントリークラブ	9:45S
17	土	次年度第1回地区行動計画推進・危機管理委員会	ホテル金沢	10:00~12:00
		次年度第1回クラブ行動計画推進リーダー会議		13:00~16:00
18	日	Rotary Youth Day ~ ロータリー青少年デー	グランドプラザ富山	10:00~16:00
19	月	高岡北RC創立45周年記念式典	ホテルニューオータニ高岡	17:00~
25	日	富山第3グループIM	高岡商エビル	15:30~20:00
30	金	第9回日台ロータリー親善会議 札幌大会(親睦ゴルフ・親睦日帰り旅行・前夜祭)		
31	土	第9回日台ロータリー親善会議 札幌大会	グランドメルキュール札幌大通公園	15:30~
		第47回地区インターアクト協議会	石川県立小松商業高等学校	10:30~14:15
未定		地区社会奉仕小委員会		
6月 <ロータリー親睦活動月間>				
1	日	山中RC創立60周年記念式典	山中座	13:00~
5	木	第2回ガバナー補佐会議	南砺市	12:00~
7	土	内浦RC創立50周年記念式典	ラプロ恋路	10:30~
7・8	土・日	第28回RI日本青少年交換研究会・青森会議	ホテル青森他	10:00~翌12:00
14	土	2025-26年度第1回地区RLI委員会・懇親会	松任産業会館他	13:30~
		米山奨学生 企業研修		9:00~18:00
		次期ガバナー補佐会議		午前
14・15	土・日	第4回交換留学生オリエンテーション1泊(派遣・受入交換留学生合同・アメリカ・カナダ帰国準備)	リファール金沢	13:30~翌9:30~
21-25	土~水	ロータリー国際大会	カナダ・カルガリー	
28	土	第4回地区国際青少年交換委員会		11:00~12:30
		2025-26年度クラブ国際青少年交換委員会委員長会議(派遣・受入について)	『本多の森』会議室	13:30~15:00
		第3回ローターアクト会長幹事会		ホストクラブ:金沢RAC
未定	土・日	第1回地区会員増強委員会	金沢市内	
未定	土	第1回地区公共イメージ委員会	石川県地場産業振興センター	午後
未定		第1回地区・規則・手続・情報委員会		
7月 <母子の健康月間>				
1	火	2025-26年度第1回ガバナー会議	東京プリンスホテル	午前
		2025-26年度ガバナー・元・次期ガバナー懇談会		14:30~16:45
		地区国際青少年長期派遣交換留学生募集開始(2026-27年度)		
5・6	土・日	第2660地区関西米山学友会40周年記念総会	大阪市内	
6	日	第15回青少年交換委員長会議	AP日本橋+ZOOM	
12	土	第1回地区職業奉仕小委員会		10:00~11:45
19	土	クラブ会員増強委員長会議	石川県地場産業振興センター(予定)	14:00~17:00
		第2回地区ロータリー米山記念奨学会委員会	金沢ニューグランドホテル	15:00~16:00
		大学窓口懇談会		16:30~18:30
26	土	第1回地区ロータリー財団委員会		
未定		第1回クラブ公共イメージ(広報)委員長会議	石川県地場産業振興センター	午後
未定		クラブ規則・手続・情報委員長会議		
未定		第1回地区社会奉仕小委員会		午前
未定		第1回地区国際奉仕小委員会・懇親会・世界大会紹介他		
未定		米山学友会 第20回記念総会	金沢	
未定		地区ローターアクト委員会・第1回会長幹事会議		

会員数報告

国際ロータリー第2610地区会員報告【2025年3月分】

2025年3月末日現在

グループ	クラブ名	会員数			女性会員			My Rotary 登録率
		期初	月末	増減	期初	月末	増減	
富山第1グループ	朝 日	20	20	0	2	2	0	20.00%
	黒部中央	24	25	1	4	3	-1	40.00%
	入 善	7	7	0	0	0	0	57.14%
	宇 奈 月	26	27	1	2	2	0	100.00%
	魚 津	22	22	0	2	2	0	80.00%
	魚 津 西	20	19	-1	2	2	0	47.37%
	6 R C	119	120	1	12	11	-1	57.42%
富山第2グループ	越中八尾	19	20	1	1	2	1	40.00%
	上 市	19	18	-1	4	4	0	22.22%
	立 山	13	13	0	1	1	0	30.77%
	富 山	107	103	-4	4	3	-1	20.18%
	富山シティ	73	75	2	0	0	0	38.16%
	富 山 南	54	58	4	0	1	1	58.62%
	富山みらい	80	85	5	13	15	2	55.29%
	富 山 中	51	49	-2	6	6	0	46.94%
	富 山 西	65	67	2	0	0	0	27.14%
	富山大手町	49	50	1	4	5	1	46.00%
	10R C	530	538	8	33	37	4	38.53%
富山第3グループ	射 水	32	32	0	1	1	0	53.13%
	東となみ	17	19	2	1	1	0	100.00%
	新 湊	41	40	-1	2	2	0	32.50%
	新湊中央	8	12	4	0	0	0	50.00%
	高 岡	77	78	1	2	3	1	31.65%
	高岡万葉	60	60	0	2	3	1	36.67%
	砺 波	39	42	3	2	4	2	30.95%
	7 R C	274	283	9	10	14	4	47.84%
富山第4グループ	氷 見	33	32	-1	4	4	0	27.27%
	氷見中央	12	12	0	1	1	0	33.33%
	南 砺	44	44	0	3	3	0	54.55%
	小 矢 部	40	41	1	5	4	-1	45.10%
	小矢部中	43	44	1	0	0	0	25.00%
	高 岡 北	32	32	0	4	4	0	36.36%
	高 岡 西	45	43	-2	3	3	0	37.21%
	7 R C	249	248	-1	20	19	-1	36.97%

ロータリークラブ名	会員数			女性会員			My Rotary 登録率
	期初	月末	増減	期初	月末	増減	
南 砺	1	1	0	0	0	0	100.00%
砺 波	2	0	-2	0	0	0	100.00%
富山国際大学	0	13	13	0	10	10	11.11%
金 沢 東	12	19	7	1	6	5	100.00%
金 沢	8	16	8	2	3	1	50.00%
小 松	2	2	0	0	0	0	100.00%
金城大学	14	14	0	11	11	0	0.00%
7RAC	39	65	26	14	30	16	65.87%

グループ	クラブ名	会員数			女性会員			My Rotary 登録率
		期初	月末	増減	期初	月末	増減	
石川第1グループA	河 北	16	17	1	0	0	0	64.71%
	河 北 南	26	31	5	1	3	2	54.84%
	金 沢	122	127	5	2	2	0	43.31%
	金 沢 東	92	92	0	5	5	0	54.74%
	金沢香林坊	99	103	4	0	0	0	75.96%
	金 沢 南	51	50	-1	4	5	1	55.77%
	6 R C	406	420	14	12	15	3	58.22%
石川第1グループB	白 山	33	32	-1	5	5	0	43.75%
	白山石川	38	40	2	5	5	0	45.00%
	金沢百万石	35	32	-3	14	13	-1	53.13%
	金 沢 北	37	38	1	4	5	1	50.00%
	金沢みなと	46	48	2	6	6	0	54.17%
	金 沢 西	42	43	1	7	6	-1	36.36%
	野 々 市	41	40	-1	6	6	0	60.00%
	7 R C	272	273	1	47	46	-1	48.92%
	加 賀	76	74	-2	6	5	-1	63.51%
石川第2グループ	加賀中央	24	27	3	8	8	0	18.52%
	加賀白山	21	23	2	1	1	0	21.74%
	小 松	46	48	2	5	5	0	58.33%
	小 松 東	33	35	2	4	5	1	100.00%
	小松シティ	30	29	-1	4	4	0	34.48%
	能 美	50	50	0	1	1	0	16.00%
	山 中	16	15	-1	0	0	0	6.25%
	8 R C	296	301	5	29	29	0	39.85%
	羽 咋	24	31	7	0	1	1	90.32%
石川第3グループ	中能登まほろは	12	14	2	1	1	0	50.00%
	中 島	8	8	0	0	0	0	37.50%
	七 尾	43	45	2	0	0	0	68.89%
	七尾みなと	44	51	7	2	2	0	60.78%
	志 賀	24	23	-1	3	4	1	78.26%
	富 来	13	15	2	1	1	0	60.00%
	7 R C	168	187	19	7	9	2	63.68%
	穴 水	12	12	0	2	2	0	33.33%
	能 都	35	36	1	2	2	0	30.56%
石川第4グループ	珠 洲	17	14	-3	0	0	0	21.43%
	内 浦	17	18	1	3	3	0	22.22%
	輪 島	28	27	-1	2	2	0	11.11%
	5 R C	109	107	-2	9	9	0	23.73%
	63RC合計	2,423	2,477	54	179	189	10	46.01%

衛星クラブ名	会員数			女性会員		
	期初	月末	増減	期初	月末	増減
小矢部みらい	8	12	4	2	3	1

R財団・米山記念奨学会寄付者一覧／会員異動

R財団 寄付

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

クラブ	氏名	日付	回数
富山南	市田 隆	3月6日	1回
羽咋	山出 徹	3月21日	1回

ポール・ハリス・フェロー

クラブ	氏名	日付
富山南	牧野 健一	3月6日
	梅田雄一朗	3月6日
羽咋	西浦 雅人	3月21日

R米山記念奨学会 寄付

米山功労者

クラブ	氏名	日付	回数
金沢北	本田 正敏	3月21日	1回

入会

クラブ 氏名 日付

富山南	野村 加代子	3月7日
高岡万葉	米澤 友香	3月14日
金沢	江見 昌大	3月12日
	原 一 隆	3月12日
	藤澤 靖彦	3月12日
能美	橋本 英也	3月7日
中能登まほろば	笹川 修蔵	3月16日
	三宅 紘一朗	3月16日

退会

クラブ 氏名 日付

富山	上垣 雅裕	3月31日
	関戸 正浩	3月31日
	野田 強	3月31日
	井深 亜希	3月31日
	馬場 智徳	3月31日
	小山 輝行	3月31日
富山南	碓井 順	3月31日
富山中	流石 稔	3月19日
	宮本 大輔	3月19日
富山西	五十嵐 一雄	3月31日
	奥 具 久	3月31日
	門之園 勝久	3月31日
高岡	瀬下 敦寛	3月31日
氷見	成瀬 史宏	3月31日
小矢部	廣谷 成信	3月31日
高岡北	本井 衛	3月31日
金沢東	相原 信康	3月31日
	平原 賢一	3月31日
	石野 信治	3月31日
金沢香林坊	久保 哲也	3月31日
金沢南	青山 剛士	3月31日
	濱田 祐二	3月31日
加賀	山森 清仁	3月31日
能美	加藤 正弘	3月7日
山中	中林 宏幸	3月31日
金沢東RAC	竹越 雄大	3月31日

ご冥福をお祈りいたします



堀 秀泰 会員（富山シティーRC）
2025.3.2（享年54歳）
ホクソー物流株式会社 取締役会長
ロータリー歴14年